科目・コース（ユニット）名： 医学概論
英語名称：Philosophy of Medicine

【担当責任者】 島袋充生、池田 和彦

【連絡先】shima01@fmu.ac.jp、池田 和彦 kazu-ike@fmu.ac.jp

【開講年次】1年,【学期】後期,【必修／選択】必修
【授業形態】：講義（全6回）

【概要】
現代の医学は自然科学を基盤としつつも、個々の医療行為は歴史的・文化的・社会的背景に規定された人間的営みです。このため、医療人は、医学、医療が、知識体系のみではない、社会と密接に関わる「文化」や「制度」であることを理解しながら、その本質を追求する態度をもつべきです。医学概論では、本学の「3 つの方針（ポリシー）」https://www.fmu.ac.jp/about/three_policy/ に基づき、以下の素養を備えた医療人となるための基盤づくりを目指します。

- 高い倫理観と豊かな人間性： 命を尊ぶ心を持ち、患者様に寄り添うことができる。
- 科学的探究心と創造性： 科学的思考力を持ち、自律的に生涯学習を継続し、世界に飛躍する志を持つ。
- 社会・地域への貢献心： 福島の地域医療の現状を理解し、東日本大震災からの復興や人々の健康に寄与する熱意を持つ。
- 協調性とコミュニケーション能力： 多職種と連携し、高度化する医療の諸課題に柔軟に対応できる。

【学習目標】
1. 医学・医療を歴史的・文化的視点から捉え、医療人としての自覚と倫理観を醸成する。
2. 能動的学習（アクティブ・ラーニング）の重要性を理解し、リサーチマインド習得の重要性を理解する。医学、医療の様々な課題を俯瞰し考える力の重要性を理解する。
3. 福島の地域医療の現状を理解し、東日本大震災からの復興や人々の健康に寄与する熱意を持つことができる。
4. 患者・医師関係や多職種連携におけるコミュニケーションの基本を理解する。病気、医療、患者／医師関係について考え続ける姿勢を身に着ける。

【教科書】なし
【参考書】
川喜田愛郎著『医学概論』、ちくま学芸文庫　2012 年
『医学の歴史』（梶田昭 著、講談社学術文庫など）
『生命倫理学入門』（今井道夫 著、知泉書館など）
『医療プロフェッショナリズム』（日本医学教育学会 編など）

科目・コース（ユニット）名： 医学概論
英語名称：Philosophy of Medicine

『医師のプロフェッショナリズム―これからのよき医師像を求めて』（デヴィッド・J・クレイグ 著）
『死ぬ瞬間の心理』（エリザベス・キューブラー・ロス 著）
【成績評価方法】
レポート：講義毎に課す。講義内容の理解度と【学習目標】の達成度を評価する
出席：原則として、全６回中４回（2/3）以上の出席を必須とする
【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内　　容	担当教員名
1	2026年10月29日	木	4	（講）科学史1	鶴田 想人
2	2026年10月29日	木	5	（講）科学史 2	鶴田 想人
3	2026年10月29日	木	6	（講）医学概論：わたしのキャリアで考える医学と医療 1	理事長・学長
4	2026年11月5日	木	4	（講）医学概論：わたしのキャリアで考える医学と医療 2	医学部長
5	2026年11月5日	木	5	（講）わたしのキャリアで考える医学と医療 3	病院長
6	2026年11月5日	木	6	（講）医学概論：わたしのキャリアで考える医学と医療 4	教務委員長

【担当教員】

教員氏名	職	所属
鶴田 想人	特任助教	東北大学ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョン推進センター
鈴木 弘行	教授	理事長・学長
伊関 憲	教授	医学部長
藤森 敬也	教授	病院長
島袋 充生	教授	令和７年度教務委員長
池田 和彦	教授	令和８年度教務委員長